

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和2年2月1日

事業所 キッズボンド木曾川 回答職員7名

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	3	十分な広さを確保しています。また個々の児童発達支援が行える体制をとっています。(時間配慮など)	
	2 職員の配置数は適切である	7		適切です。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	2	訓練指導室からトイレまでバリアフリーになっている。また学習室は「静」の動き、活動室は「動」の動きの場所と分かりやすく声かけをしています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		年齢層にあった机と椅子を用意し、清潔な色、心地よく過ごせる環境空間を作っています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	1	毎日のミーティングの中で職員全員が意見を聞き、子ども達の把握をしています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		保護者様への評価表の配布のほか、ラインや電話での連絡をとっており、ニーズに応じた業務改善を行っています。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		HPに公開しています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7		市の福祉課や相談支援専門員の意見を取り入れています。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1	本部研修・教室に顧問を招いての講習を定期的実施しています。また市役所等の研修にも参加しています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		相談支援専門員と連携をとり、支援会議を行い支援計画を作成しています。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		キッズボンドグループで標準テンプレートがあり、それを使用しています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7		ガイドラインにそって、保護者様のニーズも取り入れ、本児にあった、分かりやすい具体的な支援内容で作成しています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7		毎日のミーティングで支援内容を伝え、定期的にケース検討を実施し支援計画に沿った支援をしています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	7		活動・行事ミーティングでは原案を持ち寄り、職員のディスカッションで決定しています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		子ども達の状況に合わせて、活動・行事を決めています。特に季節行事を大事にしています。また他の教室の行事等も参考にし、工夫しています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7		個別活動には、保護者様のニーズを取り入れ、本児が楽しく参加出来るようにしています。また集団活動では、異年齢との関わりが持てるようにしています。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		毎日、必ずミーティングを実施しています。ミーティングの中でその日の支援内容・子ども達の様子を職員全員で周知しています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		個人記録に残しながら、職員一人一人がその日の子ども達の様子を報告し、共有し、次回の支援に繋げています。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		小さな事も記録に残し、支援の振り返りや、ケース検討時に活用し、支援・改善につなげています。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7		モニタリング時以外にも、見直しの必要がある場合には、保護者様と連絡をとり計画の見直しをしています。		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		児発管はもちろんの事、状況にもよるが担当の職員も極力参加出来るようにしています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7		連絡があればいつでも対応できる体制をとっています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	7		今現在、医療的ケアが必要な子は入所していません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	7		今現在、医療的ケアが必要な子は入所していません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		他事業所と連絡を密にし、連携を図っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		他事業所と訪問したり、連絡を密にしています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7		専門機関と連携し、研修等にも参加し、最新の情報を取り入れられる体制をつくっています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7		イベントを企画し、障害のない子どもと活動する機会を設けています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7		情報を確認しながら、積極的に参加していきたいです。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		小さな事でも連絡が取りやすいようにライン等でもつながり、その日の様子を伝えやすい環境を作り、お互いに共通理解が持てるようにしています。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	1	連絡帳・電話・ライン・送迎時を通してレスパイトケアを実施しているが、十分ではない。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約時に丁寧に説明しています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7		ガイドラインに基づき、保護者様のニーズも取り入れ作成し、保護者様に分かりやすく説明し、同意を頂いています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		送迎時や、電話等でお話を聞いたり、時には訪問をして、お話をお伺いしています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7		年に1回、保護者会を行っています。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		苦情があった場合には担当指導員が、管理者・児発管に報告し、保護者と面談するなど速やか且つ適切な対応をとっています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		毎月「キッズbond通信」を発行し保護者様に配布、HPにアップし活動の様子を伝えていきます。日々の活動の様子もFacebookに定期的にアップしています。翌月の行事予定も一緒に配布しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7		書類は鍵付書庫で厳重に保管しています。HP上の写真には保護者様の同意を得た上で、モザイクをかけています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		あいまいな表現は使わず、場合によっては視覚化して意思疎通を図っています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7		地域住民が参加出来るイベントは実施していませんが、今後、取り入れていきたいです。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7		書類にて周知しています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		年1回の訓練実施だった為、これからは、項目別にサイクルを作り、定期的に訓練を実施出来るようにしていきたい。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7		職員に周知している。ミーティングでも確認しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		アレルギーを持つ児童がいる為、食材やお菓子を購入する時は、十分に注意しています。保護者様にも確認をとっています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		事業所内だけではなく、グループ全体で共有しています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		研修は毎週行っているが、その中のテーマとして取り上げています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7		身体拘束について児童・保護者ともに説明をし了解を得ており、また、運営規定にも記載しています。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。